

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 35

千葉県立船橋北高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本校普通科で学習する能力及び適性に加え、次のいずれかの資質を有し、入学後も引き続き、更にその資質を伸ばすために学業及び特別活動に熱心に取り組む意志がある者

- ア 積極的に学習活動に取り組んだ者、又は、学習活動で成果（各種検定取得や研究発表など）をあげた者
- イ 運動系又は文化系部活動（校外クラブ活動も可）を3年間継続し、入学後も更に3年間積極的に活動を継続する強い意欲のある者
- ウ 生徒会本部役員として熱心に活動した者
- エ ボランティアや体験活動などに熱心に取り組んだ者

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査 (自己表現)	次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択する。 ア 実技による自己表現(次の種目のうち1つを選択) 野球(男)、サッカー(男)、陸上競技(男女)、ソフトボール(女)、硬式テニス(男)、ソフトテニス(女)、バレーボール(女)、バスケットボール(男女)、剣道(男女)、吹奏楽(男女)、美術(男女) 実施形態：個人で発表(ただし、団体種目は複数人数で発表) 検査時間：60分程度(準備時間含める、種目により異なる) イ 口頭による自己表現 日本語によるスピーチ 実施形態：個人で発表 検査時間：6分程度(スピーチ時間は1分とする)

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔320点満点〕

アの数値に、エについて加点(上限50点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=2$ を乗じた数値で評価する。 教科の評定に1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において10日以上欠席または3年間の合計で20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。

ウ 行動の記録	○の数が2つ以下である場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	<p>学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で実績がある場合は、A、B、Cの3段階で評価し加点する。</p> <p>評価A 生徒会活動：本部役員（会長） 部活動：関東大会以上出場、県選抜選手選出等 各種検定：英語検定準2級以上、漢字検定準2級以上、 数学検定準2級以上 各種発表：読書感想文等全国入賞</p> <p>評価B 生徒会活動：本部役員（副会長、書記、会計） 部活動：県大会以上出場、市選抜選手選出等 各種検定：英語検定3級、漢字検定3級、数学検定3級、 歴史検定2級以上、地理検定2級以上、 硬筆書写検定2級以上、毛筆書写検定2級以上 各種発表：読書感想文等県入賞、小中高書初展覧会席書出場 英語スピーチコンテスト県大会出場</p> <p>評価C 部活動：市内大会団体ベスト4または個人ベスト8、 剣道2段以上、弓道1級以上、部長等 各種検定：英語検定4級、漢字検定4級、数学検定4級、歴史検定 3級、地理検定3級、硬筆書写検定3級、毛筆書写検定 3級 各種発表：英語スピーチコンテスト市内大会出場 ボランティア・体験活動：具体的かつ継続的な参加</p>
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。また、記載内容に問題があると判断される場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（自己表現）〔96点満点〕

2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、s（非常に優れている）・a（優れている）・b（普通である）・c（やや問題がある）の4段階で評価する。sを16点、aを11点、bを6点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各48点満点）を合計し、得点化する。評価cがある場合は、審議の対象とする。

ア 実技による自己表現（運動系実技）

評価項目	評価基準
(ア) 基礎体力・能力	当該種目における基礎的な体力や運動能力を身に付けている。
(イ) 専門技能・将来性	当該種目における専門的な技能を身に付けている。 高校入学後の活躍が期待できる。
(ウ) 意欲・態度	当該種目に積極的・意欲的に取り組んでいる。

イ 実技による自己表現（文化系実技）

評価項目	評価基準
(ア) 基本技能・知識	当該種目における基本的な技能や知識を身に付けている。
(イ) 専門技能・将来性	当該種目における専門的な技能を身に付けている。 高校入学後の活躍が期待できる。
(ウ) 意欲・態度	当該種目に積極的・意欲的に取り組んでいる。

ウ 口頭による自己表現(日本語によるスピーチ)

評価項目	評価基準
(ア) 表現力・言葉遣い	表現力が豊かで、正しい言葉遣いで発表を行うことができる。
(イ) 意欲・将来性	発表に意欲を持って取り組む姿勢を身に付けている。 高校入学後の活躍が期待できる。
(ウ) 態度・身だしなみ	発表における基本的な作法ができている。 身だしなみが適切である。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」、「学校設定検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の 得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=2)	加点	自己表現	
500点	270点	50点	96点	916点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいししない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面接を行う。